

# 自然と文化科 活動記録

日時	2024年10月25日 9:50~15:00	担当者
場所	奈良県生駒郡斑鳩町 「法隆寺界限探訪」	文・写真とも 宮澤 富美雄
備考	参加人数 合計63人 1班20人 2班14人 3班14人 4班15人 天候 晴れ	

この活動は、「企画委員による自主ガイド活動」である。また、今回は秘仏中の秘仏とされている『夢殿・救世観音像』の特別拝観と、斑鳩の里に咲くコスモスを楽しむという企画であった。

行程 JR王寺駅集合（1・2班9時40分 3・4班10時）バスで法隆寺iセンター前へ  
法隆寺（参道→南大門→西円堂→西院伽藍→東院伽藍→中宮寺→中宮寺跡（昼食）→法起寺  
→法輪寺→斑鳩神社→iセンター



1・2班は10時過ぎに、また3・4班は約20分遅れて法隆寺iセンター前を出発。まずは松並木の参道でヤドリギのマツグミを観察。南大門を歩いていよいよ法隆寺前へ。

法隆寺についての概略を企画委員から聞き、左折。境内の西端にある西円堂へ。この建物は奈良時代に行基さんが建立された、とのこと。

その後三経院、中門、聖霊院前を歩いて夢殿へ。ここで特別公開の「救世観音像」を拝観。中宮寺を経て中宮寺跡史跡公園で昼食。コスモスを楽しむ。

昼食後は、法起寺の周囲のコスモスに心を癒されながら山背大兄王の墓所参考地、法輪寺、三井の井戸を経て斑鳩神社前を通り、iセンターへ到着。ここで解散し、法隆寺駅または王寺駅までのバスで帰宅の途に着く。全行程約7kmの活動であった。

.....

## ・法隆寺・

7世紀初頭に造られた法隆寺。金堂・五重塔などは世界最古の木造建築物であるとされる。

- ① 1993年「法隆寺地域の仏教建造物」として世界遺産に登録されており、また、国宝・重要文化財に指定されたもの約190件、点数にして約3000点に及ぶという寺院である。
- ② 境内には飛鳥、奈良、平安、鎌倉、室町という各時代の建物が造られている

## ・夢殿／救世観音像・

国宝・飛鳥時代前期（7世紀）木造 像高178.8cm 現存最古の木彫仏  
奈良時代にはすでに「聖徳太子等身の像」と呼ばれていたという。

## <所感>

今回の活動は、企画委員の方々によるガイドでした。きっと何回も下見され、また、いろいろな資料で勉強されたことと思います。充実した素晴らしい活動日でした。